



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和8年5月1日

第3号

5月の全校朝会でも、こりずに「ガラスのびん」を使って話をしました。

新しい学級が始まって3週間。子どもたちは新しい環境に少しずつ慣れてくる一方で、自分の気持ちや思いをうまく伝えられず、歯がゆい思いをしたり、けんかになったりすることが見られる時期です。

今月も、ただ仲がよく“見える”のではなく、本当に仲よく“なっていく”ために大切にしてほしいことについて考えました。うそをつく、心のびんは曇ってしまうけれど、正直だと、「心のびん」はぴかぴかになっていく——の続きです。

このびんなにがちがう？



なかがよく見えない

なかがよく見える



「もうひとつべつの言葉はないかな」

日本では、虹は7色と言われることが多いですが、国や地域によって色の数は違うそうです。

色を表す言葉があるかどうかで、見え方や感じ方まで変わると言われています(諸説あります)。日本には、桜色や桃色など、微妙な色の違いを表す言葉がたくさんあります。

言葉、見る力や感じる力を広げてくれるものなのです。



このことは、絵を描くときの色鉛筆にも似ています。使える色が少ないより、たくさんあった方が、表現は豊かになります。水彩絵の具

だと、色を混ぜたり水で薄めたりすると、絵の出来栄えがもっと豊かになります。色の塗り方でも、絵の表情や見る側の印象は大きく違ってきます。

言葉も同じです。使える言葉が増えると、自分の気持ちや考えがより伝わりやすくなります。

たとえば、「今日、遊べる？」と聞かれて、「むり」

と一言で返す。短くて早く伝わるけれど、短く言い捨てられた側は寂しい気持ちになるかもしれません。

たとえば、「やばい」とか「あおられた」という言葉も、なんとなく感じが伝わって便利かもしれませんが、それだけだと本当の気持ちは伝わりにくく、誤解を与えることがあります。

言葉は、心の色鉛筆です。

すぐに強い言葉や行動で伝えるのではなく、「どんな言葉なら伝わるかな」と一度考えて、言葉を選ぶこと。そして、うまく伝わらないときは、「もう一つ違う言葉はないかな」と考えて言い直してみる。言葉は選べるし、言い直せます。

それが、仲よく“見える”だけでなく、仲よく“なっていく”ための大切な力です。

言葉の力を少し意識するだけで、あなたや周りの人の心のびんは、きっと、ぴかぴかになっていくでしょう。



様々な技法を使って(4年図工)

令和8年度学校教育目標について

令和8年度鹿ノ台小学校の教育目標は、「学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」です。この目標に向かって、本校の教育活動を進めるための土台が、今年度の重点(目標)です。3つの土台とそれを具体化する取組の方向6項目(①~⑥)は、次のとおりです。



土台1) 多様性への理解、心理的安全性の確保、自己有用感の向上

- ① 決まりなど自らの学校生活について考え、正しく行動できる力の育成
 - ・心理的安全性を高める取組
 - ・善悪の判断を育てる道徳教育
 - ・自分らしさへの気付きと自己有用感を育てる取組
- ② 多様性への理解や自分らしさを発見し互いに尊重し合う態度の育成
 - ・障害や不登校、外国籍、LGBTQ等の多様性の正しい理解と支援

土台2) 主体的、協働的な学びと個別最適な学びの推進

- ③ 児童の協働的な学びと個別最適な学びの一体化を目指す授業づくり
 - ・自己調整力を育む授業 (めあてとふりかえりの定着)
 - ・児童の探求心と主体性を高める授業の工夫
 - ・考えを比べる、つなげる、深める話し合いの工夫 (基礎として、聞く力と話す力を伸ばす)
- ④ 地域と連携した特色ある学びの推進
 - ・地域や市教委等と連携した特色ある取組

土台3) 保護者、地域から信頼される学校づくり

- ⑤ 問題行動への組織的な対応
 - ・外部専門機関や学校運営協議会、地域、保護者との連携
 - ・家庭と連携した ICT モラル教育
- ⑥ 「鹿小らしさ」についての共有と取組の推進
 - ・分かりやすい情報の発信

- ➔ [鹿小のグランドデザインについて](#)
- ➔ [市内統一版](#)
- ➔ [鹿小独自版](#)



学校が大切にしたいことやそのためにどのような取組を進めていくのかを分かりやすくデザイン化したものが「グランドデザイン」です。本年度は、グランドデザインを2種類つくりました。1つめは、学校独自のデザイン(上図)で、もう一つは、生駒市統一の様式のもの(左図)です。こちらは、生駒市教育大綱に基づき、本校の目指す教育を整理しています。

➔ [2つのグランドデザインの関係について](#)

校外学習 撮影業者の同行と販売について

5月と6月には、各学年で校外学習を実施します。

今年も、校外学習の写真撮影および写真販売については、業者に依頼しています。各学年につき1名の撮影業者が、校外学習に同行します。写真の販売方法や金額については、校外学習終了後、しばらくしてから、担当業者より学校へ連絡が届き次第、お子さんを通じて案内を配付します。なお、写真はネット上で見本を閲覧の上、購入の申込を行っていただくと、後日、業者から各家庭へ直接配送されます。